

平成27年度第3四半期指摘事項一覧(事業者の処置結果追記分)

原子力事業所又は原子力施設名: 関西電力株式会社 高浜発電所

作成責任者 統括原子力保安検査官 須々田 和博

番号	指摘日	事務所 担当者	事業者 対応者	指摘(要旨)	事業者 回答日	事業者の処置状況
5	平成27年11月2日	山西	土木建築課	津波防護施設のうち、防潮堤の止水ジョイント(シート、ゴム)の点検結果、不良が見つかった場合、今後の運用を想定すると修理補修中の運転上の対応を決めておく必要があると思われます。また、防潮堤としての機能を喪失しないで、ゴムやシートを交換する方法を次回定検までに検討した結果について、その具体的な交換手順等を確認することとします。	平成27年11月10日	防潮堤の止水ジョイント(シート、ゴム)の点検結果、防潮堤としての機能を喪失するような異常や不良(具体的には、止水ジョイントを貫通するような穴が開く等)が見つかった場合に、更に津波警報が発生した場合は、原子炉を停止させる。また、修理が、10日以上かかる場合も、原子炉を停止させる。上記運用要領を、業務決定文書にまとめ、11/6安全運営委員会で審議され11/13から施行された。尚、防潮堤としての機能を喪失しないで、ゴムやシートを交換する方法を次回定検までに検討します。
					平成28年3月17日	止水ジョイントの交換方法の検討に係る検討項目および条件等を抽出・整理し、今月中に外部への委託契約手続きを行い検討を開始する予定です。
					平成28年6月30日	止水ジョイントの交換方法については、原子力事業本部にて施工会社との委託契約を行い、現在検討中です。 (委託完了予定: H29.3末)
					平成28年9月27日	止水ジョイントに係る検討として、補修および取替(交換)方法を原子力事業本部にて検討中です。 (委託完了予定: 平成29年3月)
					平成28年12月20日	止水ジョイントに係る補修(損傷度合による評価、補修方法等)および取替(交換時の影響評価、交換方法等)について原子力事業本部にてとりまとめを実施中です。 (委託完了予定: 平成29年3月)
					平成29年3月23日	止水ジョイントに係る検討について、原子力事業本部の委託結果を踏まえ、社内方針を策定完了した。平成29年4月から運用開始した。 (社内方針決裁: 平成29年3月)。

(※)番号1、2、3、4、6、7、8、9、10は、前四半期までに処置完了済み。番号5については、事業者の処置完了を確認済み。